ツヅキグループ サステナビリティの取り組み
（２０２５年度実績）

1 事業を通した社会への価値創出

私たちは、お客さまを巡る社会課題に向き合い、事業を通じてその解決を行っています。
事業の活性化そのものが、社会と私たち双方のサステナビリティにおける重要なテーマであり、各従業員がそれを強く認識し行動することで、提供価値を高めていきます。

プロジェクト	目的・意義	取り組み	ＫＰＩ／モニタリング項目	目標	実績
事業推進	事業で生み出す社会価値の可視化および向上と、従業員の意識醸成を通したサステナビリティの推進	事業を通したサステナビリティ推進を加速させるための各種情報整理・発信や意識醸成に向けた各種企画の進行	ＫＰＩ ①　注力分野の社会課題解決に資するサービス売上高 ②　提供サービスにおけるクラウドサービス伸長率 ③　業務で経済的価値／社会的価値を両立している実感を持つ従業員	２０２６年３月末までに ①　１６３億円（グループ含む） ②　２０２３年３月より３０%増 ③　６０%（グループ含む）	２０２６年３月末時点 ①　１７７億円 ②　２０２３年３月より４４．７%増 ③　４２．４%
理念浸透	経営理念の浸透を通した従業員の行動変容と、社会への提供価値拡大	従業員に対する、経営理念の自分ごと化に繋がる施策の企画・展開および継続化	ＫＰＩ ①　経営理念・企業活動への共感 ②　自身の行動と経営理念との紐づき実感 ③　仲間の行動と経営理念との紐づき実感	２０２６年３月末までに ①　８５% ②　７０% ③　６０%	２０２６年３月末時点 ①　７７．１% ②　６０．１% ③　５４．０%

2 「人」の成長と活性化

私たちのすべての価値の源泉である「人」のパフォーマンスを高めることが、グループの価値向上、ひいては社会への提供価値向上に繋がります。
お客さまの本質的成長に向き合い、価値を生み、社会と自社の成長に貢献する多様な「バリュークリエイター」を生み、活躍できる環境を整備します。

プロジェクト	目的・意義	取り組み	ＫＰＩ／モニタリング項目	目標	実績
組織 ・ 人材開発	「リーダー人材育成」 「多様なプロ人材育成」 「自律的に社内外に働きかけるチームづくり」 の３本柱を方針とした、組織と個人の活性化	採用・配置・制度等の組織からのアプローチと、人材開発プログラムを軸とした個へのアプローチを組み合わせた推進	ＫＰＩ ①　ワークエンゲージメント ②　ＴＬＦ（経営人材育成プログラム）受講者 ③　ＤＸ人材育成	２０２６年３月末までに ①　３．２０点（グループ含む） ②　６５名（グループ含む） ③　高度ＤＸ人材　１５名 ＤＸ検定認定者　５００名	２０２６年３月末時点 ①　３．０７点 ②　５３名 ③　高度ＤＸ人材　５名 ＤＸ検定認定者　５４１名
ダイバーシティー & インクルージョン	多様なバリュークリエイターを生み出す環境をつくり、育成するとともに、挑戦・活躍し続ける文化の醸成	多様なバリュークリエイターが活躍する企業を目指した、制度整備と文化醸成	ＫＰＩ ①　正社員女性比率 ②　総合職女性比率 ③　管理職女性比率 ④　男性育児休業取得者のうち、育児休業取得期間１か月以上 ⑤　男性育児休業取得率 ⑥　女性育児休業取得率	２０２６年３月末までに ①　１５．５% ②　１３．５% ③　５．０% ④　５０%以上 ２０２７年３月末までに ⑤　５０%以上 ⑥　９０%以上	２０２６年３月末時点 ①　１５．５% ②　１３，５% ③　４．０% ④　６５．３% ⑤　８９．７% ⑥　７７．８%
健康経営	習慣・からだ・こころ・意識・無意識へのアプローチを通じ、人的資本の基礎である健康を支えること	従業員とご家族をはじめとするステークホルダーの「心身ともに健康」を維持・増進する活動の推進	ＫＰＩ ①　健康診断受診率	毎年 ①　１００%	２０２６年３月末時点 ①　１００%
安全衛生	労働災害に対するリスク管理および予防対策	職場における事故や労働災害の発生予防を目指した、自主的な安全衛生活動の推進	ＫＰＩ ①　ストレスチェック受検率	毎年 ①　９０%以上	２０２６年３月末時点 ①　９８．４%
ワーク スタイル	ディーセントワークの実現による、従業員の幸福・満足度向上および、自律性・生産性の促進	働き方・働く場の見直し・アップデートによる、常に進化し続けるオフィス／環境の整備	ＫＰＩ ①　ワークスタイル・ワークプレイス支持度 ②　働く環境の魅力度	２０２６年３月末までに ①　８５%以上 ②　８５%以上	２０２６年３月末時点 ①　８３．８% ②　７５．２%

ツヅキグループ サステナビリティの取り組み
（２０２５年度実績）

TSUZUKI
可能性に満ちた“余白”を、ともに。

3 「知」「技術」の発展と発揮

私たちは多様な業種・業界の課題に対して、お客さまとともに向き合いながら価値を創出してきた長い歴史を誇ります。
このなかで、ノウハウ・洞察力などの「知」と、時々の社会に役立つ「技術」を培ってきました。
これらを持続的に高める環境を整備し、新たな社会価値の探究や、サービスの品質に還元していきます。

プロジェクト	目的・意義	取り組み	ＫＰＩ／モニタリング項目	目標	実績
新技術の社内実践	新技術の社内実践を通じて「知」と「技術」を培うことによる、お客様への価値提供および自社の効率・パフォーマンスの向上	ワーキンググループメンバーを中心に新技術の社内実践を行い、「知」と「技術」を培うことによる、社内における新技術活用の推進・支援	ＫＰＩ ①　サービス企画・開発支援数 ②　社内研修活動数	毎年 ①　５件 ②　３件	２０２６年３月末時点 ①　５件 ②　４件
お客さま・パートナーとの共創	ツヅキグループが保有する「知」と「技術」を活用し、お客さまやパートナーとの共創による新価値創造および社会課題解決	共創の仲間づくりやお客さまやパートナーとの協働検討を行い、実証実験を進めながらサービス創出を目指した活動推進	ＫＰＩ ①　共創プロジェクト ②　サービス創出	毎年 ①　４件 ②　１件	２０２６年３月末時点 ①　６件 ②　４件
サービス品質と信頼性向上	提供サービスに対しプロジェクト品質向上サイクルの適用を通した、お客様からの信頼に足る品質および信頼性向上	「しくみ（品質フレームワーク）」と「活動（プロジェクト監視活動）」を掛け合わせたプロジェクト品質向上サイクルの提供	ＫＰＩ ①　プロジェクト監視活動の実施率 ②　お客さまシステムの安心安全を守るためのサイバー攻撃に対する訓練の実施回数	毎年 ①　１００％ ②　１件	２０２６年３月末時点 ①　１００％ ②　１件

4 地球環境と社会への寄与

私たちは、社会全体の持続可能性にとって大きな課題である「気候変動」を中心に、地球環境への負荷を低減した事業活動を行います。
また、環境意識や社会課題への理解を深めながら、従業員一人ひとり、そしてさまざまなステークホルダーの皆さまとともに、
環境・社会貢献活動を推進します。

プロジェクト	目的・意義	取り組み	ＫＰＩ／モニタリング項目	目標	実績
環境マネジメント	事業活動における社会・環境・天然資源への悪影響を最小限に抑えることによる、持続可能な社会実現への貢献	事業活動における環境負荷の管理および、特に「気候変動」を中心にした環境負荷軽減のための活動実施	ＫＰＩ ①　ＣＯ２排出量（Ｓｃｏｐｅ１＋２）の低減（グループ含む）	２０２６年３月末までに ①　１，３４６ｔ－ＣＯ２ ※２０１４年３月比▲３９．８％	２０２６年３月末時点 ①　１，０６１ｔ－ＣＯ２ ※２０１４年３月比▲５２．５％
社会貢献	企業主体での環境・社会貢献実施および、従業員主体の活動支援による、従業員の関心と貢献実感の向上	企業主体の活動企画・進行および、従業員主体の活動を支援する環境整備による、環境・社会貢献活動の推進	ＫＰＩ ①　環境・社会貢献活動の柱となる企画の起案・実行 ②　環境・社会貢献への高い意識があると自覚している従業員 ③　（社内外問わず）環境・社会貢献イベントに参加している従業員 ④　社会に貢献できた実感を得ている従業員	２０２６年３月末までに ①　１０件 ②　８０％ ③　７０％ ④　６０％	２０２６年３月末時点 ①　１０件 ②　７１．２％ ③　４７．２％ ④　３８．１％

ツヅキグループ サステナビリティの取り組み
（２０２５年度実績）

TSUZUKI
可能性に満ちた“余白”を、ともに。

5 健全な経営基盤の強化

私たちは経営理念のもと、効率的で透明性のある企業運営を行い、健全な経営基盤を強化し続けることで、企業価値の向上を目指しています。
また、企業をめぐるリスクのコントロールやコンプライアンス意識の向上により、皆さまから信頼される事業環境を維持します。

プロジェクト	目的・意義	取り組み	ＫＰＩ／モニタリング項目	目標	実績
コーポレート・ガバナンス	経営の公正性、公平性、透明性、遵法性を高めることによる、社会的責任の遂行と継続的な企業価値の向上	戦略実現を支えるガバナンスの強化と適時・適切な情報開示や投資家の皆さまとの対話の充実	モニタリング項目 ①　現整備状況の発信 ②　取締役実効性評価の実施	―	２０２６年３月末時点 ①　発信 ※有価証券報告書 ②　実施
コンプライアンス	コンプライアンス推進体制の維持・強化を図り、強固な経営基盤を築き、社会的信頼を確保することによる、企業価値向上および社会への貢献	コンプライアンス研修、意識調査等の活動を通じた、コンプライアンス意識の浸透と実践しやすい環境作り	モニタリング項目 ①　現活動情報の発信 ②　研修実施	―	２０２６年３月末時点 ①　発信 ※統合報告書 ②　実施 ※２回、受講率１００％
リスクマネジメント	ロス（損失）となるような事態を極力発生させない、あるいは発生してもロスを最小にすることによるツヅキグループの事業継続、ひいては持続的成長への貢献	リスク事象の早期把握に資するための、グループ内リスクメール運用、内部通報制度や社外窓口の設置等	モニタリング項目 ①　現活動情報の発信	―	２０２６年３月末時点 ①　発信 ※統合報告書
情報セキュリティ	・情報セキュリティ規定の整備、情報漏洩や不正アクセスに対する防御体制の強化 ・JISQ15001 に準拠した個人情報保護マネジメントシステムの策定と、適切な運用	・情報資源および個人情報の適切な管理を目的に社内規定を策定したうえで見直しを実施 ・個人情報の適切な取り扱いを含む定期的な情報セキュリティ研修の実施	モニタリング項目 ①　個人情報の適切な取り扱いを含む情報セキュリティ研修の定期実施 ②　情報セキュリティ基準の定期見直し	―	２０２６年３月末時点 ①　実施 ※新入社員研修２回 ※全社向け標的型メール攻撃訓練２回 ※ｅラーニング１回 ②　期間中に基準改版１回
人権の支持と保護	事業活動を通じた人権尊重の社会実現への寄与および人権尊重の責任遂行	人権方針を定め、人権尊重に係る従業員の啓発と人権リスクを低減するプロセスの導入および定着化に向けた取り組みの実施	ＫＰＩ ①　人権方針の策定・開示 ②　従業員向け研修（ｅラーニング）の実施	２０２５年３月末までに ①　人権方針を策定・開示 毎年 ②　ｅラーニングを１回実施 ＊うち、２０２６年までに受講率１００％達成	２０２６年３月末時点 ①　達成 ②　実施１回 受講率１００％達成
持続可能なサプライチェーンの構築	ガイドラインに基づいた適切な調達活動の徹底および、調達パートナーへのガイドライン遵守の要求	・調達ガイドラインの制定と、サプライチェーン全体における遵守 ・サステナブル商材の積極的な取り扱いの推進	モニタリング項目 ①　調達ガイドライン改版 ②　主要仕入れ先へのガイドライン説明・アンケート実施 ③　アンケート結果に基づく改善依頼実施	―	２０２６年３月末時点 ①　今年度の改版はせず ②　実施 ③　実施